

発行日 平成28年3月1日
 発行 特定非営利活動法人
 神奈川県レクリエーション協会
 編集 広報委員会
 事務局 〒221-0855
 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1
 神奈川県立スポーツ会館内
 電話 (045) 320-2430
 FAX (045) 320-0640
<http://www.kanagawa-rec.or.jp/>

レクリエーションかながわ

スコレ

やってよかったしく活動 学んでよかったしく運動 もってよかったこの仲間

未来につなぐわらわらぶらぶらたあそび



NPO法人わらわらぶらぶらたあそび協会

会長 田村洋子

こどもの頃夢中になって遊んでいた遊
 びといえます♪あんたがたどこさ♪♪
 のまりつき、♪花いちもんめ♪♪、鬼ご
 っこ、缶けり、ゴム飛び、縄とび、馬と
 び、あやとり、絵描き歌など思い出せば
 きりがありません。本当に豊かでした。
 1960年代横浜でのことです。小学校
 6年の時、夏には毎日泳いでいた海が埋
 め立てられることになりどうやって海が
 陸になるのか不思議で授業より教室の窓
 からその様子を見ていた記憶がよみがえ
 ります。

なぜNPO法人日本わらわらぶらぶらたあそび協会
 を設立した活動が続いているのかといえ
 ばそんな体験があったからとつくづく
 思います。

♪あんたがたどこさ♪♪などが「わら
 べうた」と分類されると知ったのは子育て
 中のことでした。時代の変化とともに
 生活環境は移り変わり、子どもたちの遊
 びの世界にはファミコンが出現してきま
 した。便利になる一方の日常生活の中で
 大人も子どもも本来持っている人間の機
 能を気が付かないうちに失ってしまうの
 ではないかとの危機感を抱きました。そ
 んな中で思い出したのがわらわらぶら
 ぶらです。この遊びは便利さの中で子どもたち
 の内に失われつつある力をきくと育んで
 くれると思ったのです。
 いろいろな伝わり方をしているわらわら

うたですがどれも童謡・唱歌と違い作曲
 者作詞者が定かではありません。記録に
 残っている古いものは平安時代、幼い鳥
 羽天皇が御所の庭に降る雪を眺めて♪ふ
 れふれ こゆき♪と歌われたもの、と尾
 原昭夫編著「日本のわらわらぶらぶら(文元社)」
 にあります。短い歌の中に自然、言葉
 歴史、行事、先人の知恵などが歌い込まれ
 同じ歌でも地域により言葉や節が違った
 り、また素朴な子どもたちの心情が込められ
 ていて私自身興味を尽きません。

現在の定期活動場所は厚木市郷土資料
 館、東京おもちゃ美術館、県立七沢森林
 公園民話館です。日本、郷土の文化遊び
 として実践しています。不定期活動とし
 ては地域の子育てサロン、ミニデイサー
 ビス、保育園、幼稚園、小中学校、高校
 図書館、支援クラス、高齢者施設、コミ
 ュニティカフェなど様々な場所で0歳〜
 100歳までの方々と楽しい出会いを続
 けています。初対面でも不思議、わらわ
 らぶら遊びとお手玉や投げ竹で即打ち解
 け、終われば皆やわらかな表情です。難
 しい！できた！ おしい！ あく楽しい
 ! 懐かしい! とあつという間に会場
 には笑い声があふれます。大人がお手玉
 やけん玉、投げ竹などに夢中で挑戦する
 姿もあれば子どもができそうにないもの
 を目の前に嫌いだから！などと失敗を恐
 れて挑戦しない姿もしばしば。皆初めは

出来なくてもやれば出来る、そのきつ
 かけ作りや楽しくなるころまでの声掛け
 が私の役目、こちらも真剣です。

実は私はお手玉で遊んだことがなく上
 手な人に会うと子どもたちの時お手玉遊び
 があったならと残念に思うこともしばし
 ばでした。こんなわけで自分ではできな
 いと思いついていたのでありますが50代でふと
 たことから夢中になり今は3つでできま
 す。ここまで2、3年かかったのです。そ
 の出来た時の感動が忘れられません。あ
 きらめなければ出来る、お手玉を通した
 ささやかな経験ですが「すぐに出来ない
 こと」は「すぐ出来てしまうこと」より
 人を育てる点ですつとすごいことだとし
 みじみ思いました。わらわらぶらぶらたあそびの
 中で子どもたちは同じような経験を知ら
 ず知らずのうちにしていると思います。

長年実践してきて思うのは老若男女遊
 びが大切、ということ。今は子ども
 に遊びを戻す過渡期に思います。日常、
 地域でわらわらぶらぶらたあそびが世代を超えて
 共有され人を繋いでいく！わらわらぶらぶら
 そ古くからの「日本の宝物」だと以前に
 も増して感
 じます。ど
 んどん便利
 さを増すIT
 の時代、パ
 ランスをと
 る意味でも
 温故知新で
 一人でも多
 くの人々が
 それぞれの場
 所で伝え続
 けていって
 ほしいです。



神奈川県
レクリエーション協会
功労者表彰

おめでとう
ございます!

一番上の写真／前列左から

鳥山明 さん
(鎌倉市レクリエーション協会)
※代理:若木一美さん

大牟田宏 さん
(藤沢市レクリエーション協会)

池田ひかる さん
(神奈川県支部民踊連盟)

佐藤早苗 さん
(大和市レクリエーション協会)

小澤美代子 さん
(相模原市レクリエーション協会)



新春の集い



平成27年度新春のつどい
日時:1月23日(土)

16:00~18:00

第1部 功労者表彰式

第2部 新春のつどい

会場:崎陽軒本店5階 マンダリン

一番上の写真／後列左から

佐藤会長
田原博 さん
(座間市レクリエーション協会)

松岡民生 さん
(神奈川県レクリエーション協会)

田村直治 さん
(愛川町レクリエーション協会)

おめでとうございます!

永年のレクリエーション普及振興活動の功績が認められ
栄えある表彰を受けられました方々です。益々のご活躍を!

平成27年度文部科学大臣表彰／生涯スポーツ功労者表彰

米倉菊治郎さん

内田美智子さん

(県レクリエーションダンス連盟会長)

(県フォークダンス連盟副会長)

平成27年度神奈川県体育功労者表彰

吉松徹さん(県レクリエーション協会事務局長)

崎陽軒本店 同窓会プラン

個室・宴会場で、同窓会・クラス会・OB会に
3時間ゆったりご利用いただけるプランです。

Aプラン
平日の昼食限定
7,000円
(税・サービス別)
フリードリンク付

or

Bプラン
平日の昼食
土・日・祝日の昼食限定
6,200円
(税・サービス別)
ワンドリンク付



※お部屋は3時間までご利用いただけます。4名様より承ります。
※中国料理コースまたはイタリア料理コースをお選びください。
ご予約・お問い合わせ ☎045-441-8880

崎陽軒本店
〒220-0011 横浜市西区真砂2-13-12
E-mail: enka@kiyoken.co.jp
URL: http://www.kiyoken.com/



事業報告

あれ・これ

指導者派遣事業

「レクの先生がやってくる！」

この事業は、高齢者を対象とした健康・体力づくりと親子や高齢者がともに参加できるような世代間交流教室・イベント等への支援を実施し、高齢者の運動・スポーツの機会への参加促進を図ります。実施団体は県内の老人クラブ、社会福祉協議会、総合型地域スポーツクラブ、保育所、幼稚園等です。参加された方からは楽しかった、有意義だったなどうれしいコメントをいただいています。平成28年度も実施する予定です。

平成27年度
実施団体52団体
参加者2,603人



平成27年度スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会

平成28年1月16日(土)、17日(日)
会場／神奈川県立スポーツ会館



「スポーツ・レクリエーション指導者講習会」が開催されました。

健康寿命の延伸を目指し、運動に親しんでいない人たちに、運動の大切さと楽しさに気づいてもらうための方策や、誰もが継続的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる場の創りかたなど、興味深い内容が盛りだくさんの講習会でした。

横浜ランドマークタワー「スカイライミング2016」

平成28年1月24日(日) 10時～17時
会場／横浜ランドマークタワー・三菱みなとみらい技術館



運動を暮らしの一部として習慣化する3000連動の取り組みである「階段のぼり」を啓発するため、横浜ランドマークタワーの階段のぼりイベントが行われました。

コース上では三菱みなとみらい技術館に関連したスタンプラリーも行われました。

参加者も自分なりのペースで完歩され、「48階までが苦しかったが、そのあとは一気に登れた」「足がパンパン」「登った後の景色が最高でした」などなど、参加者のみなさんそれぞれ楽しまれたようでした。



(公財) 日本レクリエーション協会公認
レクリエーション・インストラクター資格取得公認講座

5/29(日)
開講
受講生募集!

平成28年度 かながわレクスクール開催します。

- 全9回(6月～9月の土日) 日程詳細はHPにてご覧ください
- 受講料 37,000円



平成26・27年度 専門委員会活動総括

おつかれさま！
2年間の活動を終え、各委員長に総括していただきました。

総務・企画委員会

委員長 笹野隆



この2年間、「組織強化」と「財源の確保」を重点に活動を進めてきました。

★「組織強化」については…

・「笑」と「歌」で健康づくり！をテーマに落語講演会と歌い場づくりの開催。(各1回)

・刷新リーフレットの作製と公的施設への常置。(現在、2施設へ常置)

・「友の会」入会キャンペーンの継続実施。(12/15現在の会員数29名)

・「友の会」会員へのクリスマスカード&書中お見舞いカードの郵送など。

★「財源の確保」については…

・事務局からの発送郵便物郵送方法の見直し。

・民間企業から社会貢献活動(CSR活動)支援金の寄付&パンソンの現物支援など。

今後の活動としては、現在の活動を踏襲しつつ協会メインイベント「かながわスポ・レク大会」をテーマにしたしゃべり場づくりも、ひとつとして据えていきたい。

2年間の活動を、共に進めて頂いた委員をはじめ、多くみなさまに感謝申し上げます。

事業委員会

委員長 吉川裕治



レクリエーション・スポーツを通して楽しく健康作りが出来る事を目標に、かながわスポレク大会の企画・運営をはじめ、チャレンジ・ザ・ゲーム大会の実施、また、県下の各フエスナイバルへ出前イベントとしての参加等、年間を通して活動をしています。

大都市部・町村部・臨海地区様々な地域において、小さな子どもから年配の方まで幅広い年代の人と一緒に楽しく活動し、イベントを盛り上げていけた事を嬉しく思います。

今後とも誰もが楽しめるスポーツやゲームを紹介し、身近で安心なレクリエーション活動の普及のために力を合わせて行きたいと思えます。

指導者養成委員会

委員長 橋高靖子



淡々とレクスクールの運営に携わっていたように見えたかもしれないが、実は毎回あれこれバクバクしていた。

受講者に伝えなければならぬことはMEMOをし、忘れないようにと準備するも、終わってみると結構あちこちに穴が空いていた。

理論は、手堅い講師の皆さまを中心にお願ひしつつ、少しずつ担当を変え、実技は、現場で求められている内容を考慮して組み込み、公開講座として参加者を募った。特に平成27年は、神奈川県が取り組んでいる「3033運動」の指導者養成(2時間)を実技の中にやりくりして取り入れたが、出来れば「健康体操」の範疇として2コマ(3時間)で

実施した方が良かったかなあと感じた。

現場実習は、地域協会や種目協会のご協力なくしては100%出来ないから、事務局担当者会議の折に丁寧に説明とお願ひすることが大切だと思った。

養成講座は、委員の皆さまの協力とチームワークが無かつたら出来なかつた事は言うまでもない。

常にスキル&レベルアップを心掛け、幅広く愉快で楽しく前向きな人生の二助になることを願っています。

広報委員会

委員長 松岡民生

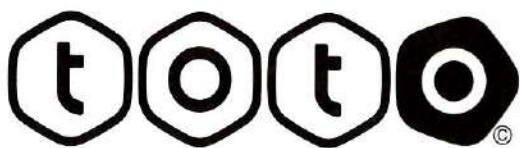


1期2年間に広報委員6名のメンバー(北神、青木、川島、新戸、田澤、松岡)は試行錯誤しながら「機関紙スコレ」「ホームページ」の企画・運営・発行を行ってきました。神奈川県レクの広報としての役割を柱に据えて、読者の皆様に楽しく、役に立つ情報を提供して来ました。

記事は頭で書くのではなく、足で書くと言われています。やはり現場に行き、その時の雰囲気・臨場感を文章に表すことが大切です。それと共に写真が大きな役割を果たします。

神奈川県下の各地で活躍されている「指導者倶楽部」に焦点を当て、紹介するシリーズも始めました。各市レクリエーション協会や種目団体の活動が、レクリエーションの発展と広がり貢献している事も紹介していきたいと思えます。トップ記事1面には「各界を代表する方々の貴重なご意見・提言」「女性執筆の方々のユニークな経験談やレク活動との関わり」等、今後とも色々な企画を提供して行きます。「皆さん、広報委員会に入って一緒に活動しませんか!!」

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

お知らせ

- Toto スポーツ振興くじ助成を活用しています。
- 平成27年度神奈川県レクリエーション協会は、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成交付を受け「スコレ」を発行しています。
- 助成対象経費合計額：772,170円 交付額：617,000円
- 発行月・発行部数：年3回(7月、12月、3月) 1回3,000部
- 配布先：公認指導者、県レク協会加盟団体、全国都道府県レク協会、レク関係機関・関係団体、個人会員・友の会会員等
- 助成金の主な用途：「スコレ」印刷代、配布発送経費

平成 28・29 年度専門委員会委員の公募について（お知らせ）

～楽しい委員会活動をとおしてレクの輪を広げませんか～

今回、平成 28・29 年度専門委員会の委員を公募いたします。下記の「専門委員会の構成と役割等について」の参考資料をご一読いただき、公認資格者の皆様の積極的な参加をお待ちしています。応募を希望される方は、下記の「応募用紙」に必要事項を記入のうえ、3月25日（金）まで、県レク事務局宛に郵送（FAX可；045-320-0640）してください。

●専門委員会の構成と役割等について

- 1 専門委員会の構成及び募集人数 専門委員会は、次の委員をもって構成し、会長が委嘱する。
 (1) 県レク協会理事若干名 (2) 県レク協会会長推薦による者若干名 (3) 県レク協会に所属する日レク公認資格者から公募による者若干名
- 2 専門委員会の任期 専門委員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 3 専門委員会の主な役割

委員会名	主 な 役 割	委員構成
総務・企画	組織の育成・強化及びレクリエーション団体との連携に関すること 1 財務、組織に関すること。 2 理事会、総会に関すること 3 地域協会、種目団体の組織支援に関すること。 4 関係団体・機関との連携に関すること 5 レクリエーション「友の会」に関すること。	5～6名
事業	主催・依頼事業等に関すること 1 事業の開発やイベント相談等に関すること。 2 受託事業の企画・支援に関すること。 3 かながわスポーツ・レクリエーション大会に関すること。 4 生涯スポーツ等の普及に関すること。 5 (公財)日本レクリエーション協会及び助成団体からの受託事業に関すること 6 その他、出前事業の支援に関すること。	7～8名
指導者養成	指導者の養成及び研修に関すること 1 県レクリエーション・インストラクター養成講習会等指導者の養成並びに企画・運営に関すること。 2 有資格者のフォローアップ研修会に関すること。 3 指導者の支援に関すること。 4 レクリエーション「友の会」への支援。 5 プログラム開発に関すること。	7～8名
広報	情報提供及び啓発活動に関すること 1 協会の事業内容の広報に関すること。 2 広報紙「スコレ」の発行に関すること。 3 レクリエーションの調査研究に関すること。 4 本協会のホームページに関すること。 5 その他、広報に関すること。	8名

4 専門委員会の活動について

(1) 委員に委嘱された年度当初に各委員会の目標とその手だてを作成し活動を進める。(2) 各委員会は、2年間で取り組んだ成果や課題・改善策等について報告書を作成する。(3) 各委員会活動の報告書は、理事会に報告する。[1年目は中間報告] (4) 委員会活動を推進するため、活動に必要な支援を講ずる。[交通費等の実費支給] (5) 各専門委員会の開催は、各委員会計画により随時実施する。

※昨年度の4委員会の開催状況・3委員会（年4～6回）、1委員会（年6～10回）

神奈川県レクリエーション協会専門委員会 「応募用紙」

平成 28 年 月 日

(ふりがな)					
氏 名					男 ・ 女
住 所	〒	—			
電 話	()	—	FAX ()	—	E-mail
横浜駅までの交通費（往復）				円	
備 考	(所属している団体がある場合は記入してください。)				
希望される委員会名（□の箇所に ■を記してください）					
□ どの委員会でもよい。 □ 次の委員会を希望します。					
第1希望	【 □総務・企画	□事業	□指導者養成	□広報	】 委員会
第2希望	【 □総務・企画	□事業	□指導者養成	□広報	】 委員会
* 応募の動機を簡潔に記載してください。					
※ この応募用紙は、委員応募のためにのみ使用し、他の目的には使用しません。					

追跡!

あの人は今

レクインストラクター資格を取得した方の、各地域での活躍をシリーズで追跡します。

レクリエーションの
生き方を創造する

中島成さん

(2013年修了) — レクリエーション・コーディネーター

定年後にレクリエーション・インストラクター、その後、レクリエーション・コーディネーターの資格を取得し、地域の高齢者が楽しく元気でより豊かな生活と生きがい創りが出来るように、又レク仲間の活動の場の提供として2つのNPOを設立、地域で活動しています。



一つは3年前に設立、種々の資格を取得して介護(認知症)予防教室、麻雀教室、ヨガ教室を開催、3年目で会員数

60名を超えました。

一つは1年前に設立、認知症患者とその家族支援でオレンジカフェを開催、認知症高齢者の介護ケアと認知症予防及びモノ作りの講習会を開催して地域のコミュニティ形成に努めています。

その他、市健康づくり普及員として高齢者に運動後のレクゲームや手遊び、ボランティアとして介護施設で寅さんの物まねなど、レクとの関わりで笑いと潤いのある老後生活を過ごさせて頂き、今後もスキルアップして継続していききたいと思っています。

私とレクリエーション



小島とよ子さん
(2013年修了) — レクリエーション・コーディネーター

私は健康体操が好きで、リズム体操やフォークダンスなど踊って、週1、2回指導していましたが、なぜかレクリエーション・インストラク

ターという言葉に興味を持ち、相模原市レクリエーション協会のレクリエーション・インストラクター養成講習会を5年前に受講しました。

今まで、経験したことのない色々な楽しいゲームや、昔懐かしい遊びなど教えていただきました。

相模原市レクリエーション協会での生涯スポーツ推進部に所属していたとき、色々教えていただきました。そして、指導者派遣事業なども経験させていただきながら3年前に、コーディネーター公認資格を取得しました。

神奈川県レクリエーション協会 of スキルアップ研修とフォロアアップ研修に参加して、今年思い切って「レクの先生がやってくる事業」に健康体操・レクダンス・ゲームで参加しました。

内心ハラハラ・ドキドキ、参加者にパワーをいただき、冷や汗かいて、でも達成感がありました。

これからです。続けるのは大変といわれますが、私のためにも、今後新しい出会いのために、続けたいと思います。

2016 かながわスポーツ
レクリエーション大会

▶ たくさんのニュースポーツ体験ができます!

- 日時：平成28年9月18日(日) 9:00~16:30
- 会場：海老名市総合運動公園

参加無料

今年は、
海老名に
集まれ!

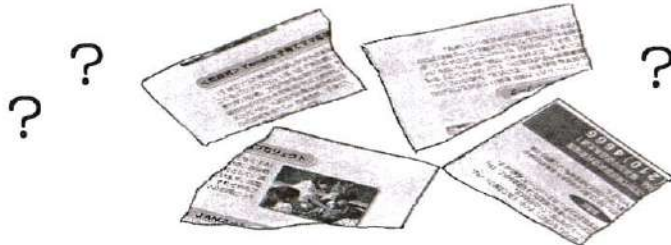


ゲーム紹介

新聞紙で遊ぶ

新聞紙パズル

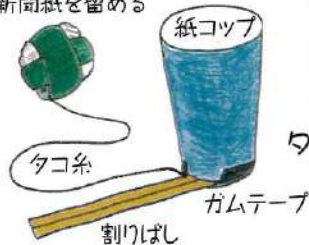
みんなで輪になって座ります。
 一人一枚新聞紙をわたします。
 半分に破いてもらいます。
 更にまた破きます。
 幼児なら3枚、大人なら5、6枚でしようか・・・
 破いた新聞紙全部を隣に渡します。(歌いながら回して、ストップで止めるなんてのもいいですね・・・)
 手にした新聞紙パズルをはじめの音図で、組立元通りにしましょう!



新聞紙けん玉

(材料:新聞紙・紙コップ・割箸・タコ糸・ガムテープ)

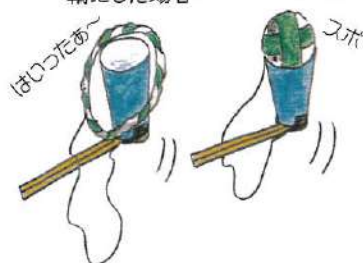
ビニールテープで新聞紙を留める



新聞紙半分をくしゃくしゃとれめます。
 ガムテープで丸くしてタコ糸を付けます
 紙コップの底に割りばしをガムテープで
 つけ、またそこに新聞紙玉についている
 タコ糸を付けて新聞紙けん玉のできあがり

*新聞紙を丸くしないで、
 輪にしてもいいですね・・・

輪にした場合 玉にした場合



●各地域加盟団体の傘下として活躍されているレクリエーション指導者グループをシリーズにて紹介いたします!

川崎市レジャー&レクリエーション研究会 (川崎市L&R研究会)

市町村指導者
グループ紹介



当会は、平成2年(1990年)当時の指導者養成講習会修了生中心の30名で組織され、その年に川崎市レクリエーション連盟に加盟登録し、今年で25年目を迎えています。

その活動は、ゲーム・ソング・フォークダンス・卓球・ウォークラリー・ペタンク、バードウォッチング、キャンプ、自然観察、ネイチャーゲーム等々有り、幅の広さと奥行きが深さがあります。

活動の念頭に置いているのは、①技術向上のための研究会の開催 ②活動場の提供

③レクリエーション連盟行事への参加、運営協力および各種行事への企画・運営です。

特出は、2年前、文科省の予算で、高齢者の人生の新たなスタートとしてニユールダー元氣塾開催に関われたこととあります。

連絡先
 〒216-0006
 川崎市宮前区
 宮前平 3-12-3-302
 川崎市L&R研究会
 会長 土屋 勝
 FAX: 044-854-9316
 Mail: nad00354@nifty.com

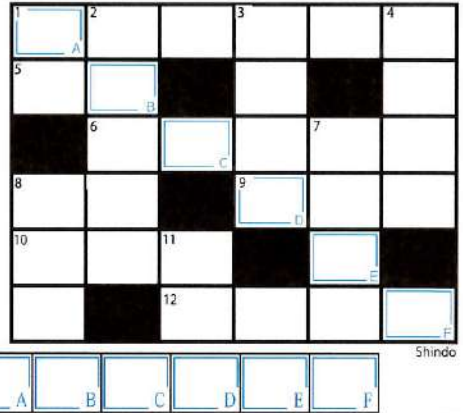
今後の活動としては、現在、健康年齢全国一である市内宮前区を含む、平成27年上半年期の出生増加率が、全国でトップとなつた川崎市民に、これからもレクリエーション・スポーツ活動を、更に広く呼び掛け、ますます活発にレク運動を進めて行きたいと考えております。

興味を持たれた方は、是非、ご一緒に活動しませんか?



頭
レク

クロスワードパズル



- 【タテのカギ】
- 土星の第5衛星
 - 最近パパが取るケースも少なくないようです
 - ラリーボールでは「アタック」とも言います
 - 会社の行き帰り
 - 心象。これでのトレーニングも効果的です
 - 美人の要素になる唯一の骨
 - メインではない
- 【ヨコのカギ】
- かっぱ
 - 灰汁
 - キスもボラもナマズも釣れる場所
 - ただのお湯
 - やりくり
 - ジェット気流に乗って
 - やって来ます
 - オリンピック開催間近

「友の会」入会のご案内

「友の会」は、当協会が主催するイベント情報を定期的にお知らせし、イベントへの参加、レクリエーションに関する相談等、皆様のレクリエーション活動の支援をすることを目的に創設しました。

入会の特典

- レクリエーションの情報紙「スコレ」を年間3回お届けします。
- 各種イベントに参加できます。
- 「会員バッジ（胸章）」をお届けします。
- レクリエーション用具等が10%割引価格で購入できます。
- 会員年額3,000円
- すてきなグッズをゲット！入会した方、更新した方にプレゼント

詳しくは「友の会」事務局にお問い合わせください。

（特非）神奈川県レクリエーション協会
TEL 045-320-2430



「スコレ」掲載記事へのご意見・ご要望をお寄せ下さい！

平成27・28年度広報委員会が携わり93号から98号を発行することができました。これまでの実績を踏まえ、新しい紙面づくりを心掛けてきました。

次年度以降の紙面づくりに向けて、93号から98号への掲載記事へのご意見、ご感想と今後の掲載記事へのご要望をお寄せ下さい。

FAX・045-320-0640 メール・jim@kanagawa-rec.or.jp

編集後記

今期最後のスコレ98号をお届けします。◆来期は100号を迎え編集委員の体制と共に企画・構成を検討していく事になります。◆また、2017年は神奈川県レクリエーション協会は創立60年を迎えます。◆記念の年が続きますので、県レクの過去・現在・未来を紹介する記事も掲載していきたいと思えます。◆より充実したスコレを目指して編集委員一同前進しますので、皆様のご支援・御協力をお願いします。

(M)

スポーツ安全保険



スポーツ活動以外の団体も加入できます。

スポーツ安全協会 関東 インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

スポーツ安全協会 神奈川県支部
((公財)神奈川県体育協会内)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1 県立スポーツ会館
TEL045-311-0653 (代表)

電話受付時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時
(日、月曜日、祝日及び県立スポーツ会館の休日は休みになります。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。



携帯電話から資料請求ができます。